

災害から身を守るための 日頃からの備え



■問合せ…市民安全課 (☎025-520-5660)

毎年、全国各地で大雨による水害や土砂災害が発生し、大きな被害をもたらしています。過去には、上越市でも平成7年の7.11豪雨や平成23年の新潟・福島豪雨、令和元年東日本台風（台風19号）などで、河川の決壊や斜面の崩落などの被害が発生しています。

災害から身を守り被害を最小限に抑えるため、日頃から十分な備えをしておきましょう。

知る 地域の危険性を知る

市では、災害の種類ごとにハザードマップを作成し、市民の皆さんに配布しています。



ハザードマップから、土砂災害の危険がある場所、洪水や津波で浸水するおそれがある場所、深さなどが分かります。

災害に備え、自分の住む地域にどのような災害の危険性があるのか必ず確認しましょう。



●上越市洪水ハザードマップの更新

上越市を流れる13河川の浸水想定が新たに公表されたことから、上越市洪水ハザードマップを更新しました。新しい上越市洪水ハザードマップは、今回の広報上越と合わせて全戸配布しています。

改めて自宅周辺の浸水深などを確認しましょう。



学ぶ 警戒レベル4で危険な場所から全員避難

危険な場所から全員避難

災害の危険が迫ったときに、「自分は大丈夫」「今回も大丈夫」という思い込みが、避難行動を遅らせます。市が警戒レベル4の「避難指示」を発令したときは、躊躇せず避難しましょう。また、避難する際は、地域の皆さんで声を掛け合うことが、災害からの逃げ遅れを無くすポイントです。



警戒レベル・避難情報など

- 5 緊急安全確保
- 4 避難指示
- 3 高齢者等避難
- 2 大雨・洪水注意報など
- 1 早期注意情報

防災一口メモ インタビュー「家庭でできる防災術」

災害への備えを難しく考える必要はありません。例えば、特売日に水やレトルト食品を多めに購入したり、普段の生活で使って買い足しながら期限切れを防ぐなど、日常生活の延長でできることがたくさんあります。

また、新聞紙やペットボトルでスリッパやランタンを作ることも可能です(※)。

工夫する術が増えれば、備蓄しなければならない物も減り、さらに、その知恵は周りの人を助けることにもなります。いきなり完璧な備えを目指すのではなく、無理なく続けられることから始めてみましょう。それが、地域の防災力を高めることにつながっていくはずですよ。

(※)上越市防災士会女性部では、市民向け研修会「自宅にある物で代用する防災便利グッズ」を11月7日⑨に市民プラザで開催する予定です。



上越市防災士会 女性部
部長 保坂 裕子さん

●ポイント

避難する際に必要となる非常持出品は、家族構成や年齢などにより異なります。各家庭で必要となるものを考え、日頃からまとめておきましょう。

○非常持出袋準備のポイント

- ・両手が使えるよう、リュックなど背負えるものにする。
- ・すぐに持ち出せる場所に置いておく。



○備蓄品準備のポイント

- ・自宅の2階など、浸水しない場所に備蓄する。
- ・電気、ガス、水道が止まった場合を想定し、用意する。

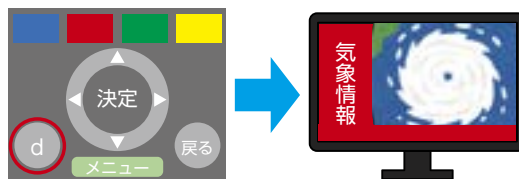


非常持出品や備蓄品のリストは、上越市洪水ハザードマップに掲載しています。

備える 災害に関する情報収集

テレビの視聴中にリモコンの「dボタン」を押すと、災害に関する情報を確認することができます。テレビのデータ放送を通じて、気象情報が取得できるほか、市が発信した避難情報や避難所の開設状況などをいち早く確認できます。

また、コミュニティFM放送（FM-J/76.1MHz）のほか、さまざまな媒体で災害情報を発信します。いざというときに備え、情報収集手段の確認をしましょう。



【情報収集方法の例】

上越市安全メール

災害や防犯など安全・安心に関わる情報をメールで配信しています。



上越市ホームページ防災情報リンク集

自主避難の判断に必要な気象情報などへのリンク集を掲載しています。



上越市公式SNS

災害情報や市からのお知らせなどを発信しています。



新潟県防災ナビ

スマートフォンのアプリで県内の防災情報を確認できます。災害時の河川や道路の状況を確認できるほか、避難情報などが自動で通知されます。

